

臨床研究に関する公開情報

平成 30 年 3 月 8 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「出血性十二指腸潰瘍における予後予測指標の external validation」

研究期間：2018年3月から2019年12月までを予定しています。

対象：2015年7月から2017年12月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて～

研究目的：

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、来院されたときの症状や、血圧や脈拍数など臨床所見、血液検査所見、CTなどの画像所見、内視鏡治療内容・結果、内視鏡時の（生検が施行されていれば）病理組織所見、治療後の経過の情報があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

この臨床研究は、出血性十二指腸潰瘍の患者さんにおける、初回内視鏡治療後に再度出血が発生するかどうかという予後予測指標を調査することを目的にしています。この目的のため、2015年7月～2017年12月に当院で、十二指腸潰瘍からの出血で内視鏡治療を受け入院された患者さんの診療録(カルテ)を調査します。すでに存在する診療録を調査するだけですの

で、本研究が患者さんの健康に今後関係することや、この研究に際して患者さんに費用が発生することは一切ありません。結果は医学論文で発表する予定です。データは匿名化し個人を特定できる情報の流出がないよう個人情報には細心の注意を払いますが、個人のデータ使用を希望されない方がおられましたら、ご連絡を頂ければそのように対応します。この研究につき、ご質問・ご要望がございましたら下記まで連絡して頂きますようお願い致します。

問い合わせ先：

研究責任者： 木村 利幸

兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器内科
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001